

contents

・眼科病棟移転
・新任教授紹介

・診療科紹介
・公開講演会の案内
・がん講演会の案内
・ATT 科名称変更



編集：杏林大学医学部附属病院
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel 0422-47-5511（代表）
<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>

■眼科病棟が第二病棟 5 階に移転



第一病棟 5 階の眼科病棟は、より快適な診療環境を提供するため、4 月 9 日に第二病棟 5 階に移転しました。

個室 2 室、4 人部屋 7 室の計 30 床からなる新しい病棟は、高齢者やロービジョンなど視覚に障害を持った患者さんに優しい病棟を目指し、処置室や病室等のサインを大きくし、廊下の導線表示や病室の手すりの色彩コントラストを強調しています。また、術後の患者さんへの配慮として病室の入口に足元表示を追加し、フットライトをつけるなどの工夫が取り入れられています。

内装は、第三病棟と同じく「武蔵野の森」をコンセプトにし、ドアやテーブルには木材が使用され、木や緑をイメージした色調を取り入れ、心地のよい空間が演出されています。

平形明人診療科長が、「患者さんに優しい病棟、医療スタッフが明るく働け、患者さんのケアも行いやすい動線を考えた病棟を目指した」と語る様に、病棟改修は、医師や看護師、ロービジョン外来などを含めたスタッフ達が他の病院やショールームを見学したり、施工会社等と話し合いを重ねながら完成させました。

写真 上：窓からの日射しを活かす設計にした 4 人部屋
下右：開放的なダイニング
下左：色調コントラスト等工夫を凝らした廊下、病室入口

■新任教授紹介



小児外科学教室

うきやま えつじ
浮山 越史

慶應義塾大学医学部卒業 博士（医学）
昭和 61 年 慶應義塾大学医学部研修医（外科学）、平成 4 年 マサチューセッツ・ジェネラルホスピタル、ハーバート・メディカルスクール 研究員、平成 7 年 東京都立清瀬小児病院、平成 9 年 さいたま市立病院（浦和市立病院）、平成 15 年 杏林大学小児外科学教室着任 助手、平成 16 年 同 講師、平成 20 年 同 准教授、平成 28 年 4 月 同 教授

小児外科疾患を中心に研鑽を積んできました。また、日本小児救急医学会や小児外科学会で各種委員会に携わってきました。これらの経験を活かし、教育、研究に努力し、臨床においては、患者さんご家族の思いに十分に報えるよう手術を切磋琢磨してまいります。



病理学教室

しばはら じゅんじ
柴原 純二

東京大学大学院医学系研究科修了（医学博士）
平成 13 年 東京大学大学院医学系研究科・東京大学医学部附属病院助手（助教）、平成 23 年 東京大学大学院医学系研究科講師、同年米国メイヨークリニック visiting clinician、平成 24 年 東京大学大学院医学系研究科准教授、平成 28 年 4 月 杏林大学医学部病理学教室教授着任

常に臨床の現場を意識し、新たな知見や技術の導入を心掛けながら、高精度の病理診断を迅速に提供する病理診断医としての使命を果たして参ります。今後の病理診断を担う人材の育成にも努めていきます。



麻酔科学教室

ちんぜい みえこ
鎮西 美栄子

東京大学医学部卒業
昭和 55 年 東京大学医学部附属病院麻酔科研修医、昭和 57 年 同 助手、昭和 61 年 東京通信病院、昭和 63 年 東京大学医学部附属病院分院・麻酔部助手、平成 6 年 同 講師、平成 19 年 同 准教授・部長、平成 26 年 同 教授などを経て、平成 28 年 4 月 杏林大学医学部麻酔科学教室臨床教授着任

前任地では緩和ケアチームを立ち上げ、ここ 2 年ほどは主に精神的ケアを担当してきました。当院でも、専門性の高い看護師・薬剤師・PT/OT 等多職種の皆様を頼りに、心身の症状緩和に微力ながら寄与できると幸いです。

◆ 循環器内科



急性心筋梗塞、急性大動脈解離など救急疾患を含む動脈硬化性心疾患や肺動脈性肺高血圧症、慢性肺血栓塞栓症など、心臓血管系の全てにわたる広範な循環器領域を網羅しています。

心エコー等の非侵襲的検査で様々な循環器疾患の診断をおこない、緊急心臓カテーテル検査及び治療を含めた24時間体制の高度な循環器医療をおこなう診療システムを確立しています。

不整脈センターでは、高周波カテーテル治

療による心房細動、心室頻拍など頻脈性不整脈の根治をおこなうとともに、ペースメーカー、植込み型除細動器や心臓再同期療法など心臓植込みデバイスによる治療も行っています。

手術にともなう放射線被曝を軽減するため MediGuide システムを2015年にアジアで最初に導入するとともに、日本で初めてリードレスペースメーカーの植込みを行いました。

2016年4月より不整脈先進治療学講座が開設され、高度先端医療技術を駆使した不整脈の治療を行っています。

◆ 泌尿器科



尿路生殖器全般腫瘍、排尿障害関連疾患、女性泌尿器疾患、尿路結石、尿路生殖器感染症、男性更年期障害など、あらゆる疾患に対応しています。

2012年7月からロボット支援手術を導入し、前立腺癌手術はほぼ全例ロボット支援手術で行い、今までに320例以上の手術をしています。2016年4月以降に腎癌に対するロボット支援腎部分切除術（保険適応）も導入する予定です。

骨盤臓器脱や尿失禁など女性泌尿器疾患に対しては女性の泌尿器科医師による診療を行

い、女性特有の症状や悩みについて相談しやすい環境を整えています。

手術に関しては、一般的な腹腔鏡手術に加えて先進的な腹腔鏡手術（後腹膜リンパ節郭清術や仙骨脛固定術など）も行っています。前立腺肥大症に対してはホルミウムレーザー前立腺核出術を導入し、術後カテーテル留置期間や入院期間が短くなっています。排尿障害や尿路結石、尿路生殖器感染症では尿閉や痛み、発熱などの緊急時には救急外来を含め24時間体制で対応しています。詳細は泌尿器科のHPをご参照ください。

◆ リハビリテーション科



リハビリテーション室（第二病棟1階）では理学療法、作業療法、言語療法を中心に、入院したばかりで状態の安定しない患者さんには病棟でのリハビリテーションを実施しています。各診療科の担当医師と連携しながら、脳出血や脳梗塞をはじめとした神経疾患、外傷性脳損傷や脳腫瘍、骨折や靱帯再建など形成・整形外科術後、さらには急性心筋梗塞や狭心症、閉塞性肺疾患といった患者さんに対して、身体機能の改善と日常生活動作能力の

向上を目指した運動指導を行っています。

また、リハビリテーションに必要な治療用装具（痙攣性片麻痺用の短下肢装具など）も制作しています。その他、摂食機能障害や小児の運動発達障害など、大学病院の診療科として幅広い領域のリハビリテーションに対応しています。

外来部門では、当院での入院治療を終えて退院された患者さんが、地域で安定した生活を送れるようにサポートを行っています。

5月杏林大学公開講演会 ※参加費・申込不要

日時・会場	テーマ
5/7（土）14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	糖尿病から身を守る 医学部教授 石田 均 ほか
5/14（土）13:30-15:00 井の頭キャンパス	抗菌薬が効かない細菌感染症の蔓延とその阻止 保健学部教授 小林 治 ほか
5/28（土）14:00-16:00 井の頭キャンパス	最新知識を学んで健康寿命を延伸 脳卒中に足を拘われないために 総合司会 医学部教授 平野照之

【会場のご案内】 ●三鷹ネットワーク大学：JR 三鷹駅前協同ビル3階
●井の頭キャンパス：JR 三鷹・吉祥寺駅南口よりバス10分

4月からATT科は
「救急総合診療科」へ名称変更しました



医療機関に関わる当院へのご意見がございましたら、どんな些細なことでも結構です。私ども患者支援センター地域医療連携までお知らせいただければ幸いです。

■ 2016年開催「がんと共にすこやかに生きる」 ■

がん患者のためのプログラムとして、講演会の開催と、その後に患者ご本人との話し合いの場を設けています。患者さんご本人、家族・友人、がんになった時のことが心配な方など、どなたでも参加いただけます。

【日程・テーマ】 ※参加費・申込不要

6/4（土）がん免疫療法
7/9（土）親が子供に自分の病気を伝える
8/6（土）緩和ケア
9/3（土）最新のがん治療
10/8（土）在宅医療

最新情報は、当院HPの
「がんセンター」参照

時 間：13:30～14:30（講演会）
14:45～15:45（語らいの場）

場 所：第2病棟4階 大学院講堂

